

# 令和5年度 大田区立清水窪小学校 学校経営計画

令和5年4月1日  
大田区立清水窪小学校  
校長 竹花 仁志

## 令和5年度の主な新たな取組

- ア 令和5・6年度大田区教育委員会教育研究推進校**  
「おおたサイエンススクール」として今年で13年目、文部科学省教育課程特例校として「サイエンスコミュニケーション科」を設定して11年目を迎えます。未来の科学を担う「科学大好きな子ども」を育成する研究を推進し、令和6年度の研究発表会を通して科学教育の取組成果を他校に発信します。
- イ 令和5年度子どもの生きる力を育むプログラム「大田区における特色ある教育の推進」事業実施校**  
20年の伝統ある和太鼓学習「清水窪かしわ太鼓」を本校の特色ある教育活動として、楽器等の整備や校外での和太鼓発表会など、取組を充実させていきます。
- ウ 学校運営協議会「コミュニティ・スクール」実施校**  
これまでの地域教育連絡協議会に代わり、学校と地域・PTA等との連携を強固にし、情報の共有化を図り、子どもたちのよりよい環境づくりや地域と共にある学校づくりを目指すための組織「コミュニティ・スクール」として発足します。
- エ 令和5年度「人権の花」運動実施校**  
花を育てる活動を通して生命の大切さに気付かせ、やさしさや思いやりの心を育みます。
- オ 教科担任制の試行実施**  
第5・6学年の社会と理科において学年担任の交換授業を実施し、社会・理科・音楽・図工・家庭・外国語の教科担任制とします。また、全学年において道徳を学年担任の交換授業とし、学年の担任が学年全ての子どもの指導に当たるようにします。
- カ 移動教室の再開**  
第6学年のとうぶ移動教室（1泊2日）の再開に続き、第5学年で伊豆高原移動教室（1泊2日）を実施します。

## おおた教育ビジョン 「豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる」

### 学校教育目標

人間尊重の精神に基づき、国際社会において信頼と尊敬を得られる人間の育成を願うとともに、東京都や大田区の教育目標の趣旨を踏まえ、本校の豊かな学習環境を生かし、知性と感性に富み、主体的に行動できる児童を育成できるよう、次の目標を設定する。

**自然や友達を大切にすること 子ども 心身ともにたくましい子ども よく考え、最後までやりぬく子ども**

### 目指す学校像

「清水窪小学校で学んでよかった」、「清水窪小学校に通わせてよかった」、「清水窪小学校で仕事ができよかった」と、子どもも保護者も地域も教職員も、清水窪小学校を誇りに思える学校を目指します。

- 子どもが互いのよさを認め合い 共に高め合う学校
- 教職員が熱意と使命感をもち、生きる力を 共に育む学校
- 家庭・地域と連携・協働し、信頼され 共に創る学校

### 「おおたサイエンススクール」＜科学大好きな子どもを育てる学校＞

科学教育の推進を通して、自然や人、もの、ことと豊かに関わり、科学的思考力、コミュニケーション力を発揮して、主体的・対話的に学びを深め、未来の科学を担う「科学大好きな子ども」を育成します。

- 大田区教育委員会指定「おおたサイエンススクール」（平成23年度～）13年次
- 文部科学省教育課程特例校指定（平成25年度～）11年次
- 大田区教育委員会教育研究推進校（令和5・6年度）、理科教育推進拠点校
  - ・サイエンスコミュニケーション科(SC科)のカリキュラムの充実・改善、サイエンスフェスティバルの充実
  - ・東京工業大学研究室訪問（3～6年）、SC科見学（科学館・博物館・動物園等の見学）の全学年実施
  - ・科学への関心を高める取組の充実（SC日記・科学展示物等の環境整備・箱ピオトープ・サイエンス朝会等）
  - ・東京工業大学サークル等と連携した、科学に関する講座「土曜・夏休みわくわくスクール」の充実

## 目指す教職員像

- 高い使命感をもって職務を遂行する教職員
  - ・児童の心身の健康・安全を最優先する確実な対応
  - ・保護者と連携した適切な対応
  - ・服務規律の順守
- 互いに連携・協力し、組織的に改善を図る教職員
  - ・組織としての指導体制の構築
  - ・管理職・主幹・主任等のラインの確立と報告・連絡・相談の徹底
  - ・学校全体の共通理解と共通実践
  - ・教職員相互の支え合い・高め合い
- 新たな教育を標榜し、創造する教職員
  - ・自己の専門性・個性を積極的に発揮する姿勢
  - ・地域や外部教育団体等と連携・協力する姿勢
  - ・社会の変化を的確に捉え、改善に取り組む適応力
- 高い危機管理意識をもった教職員
  - ・事故を未然に防ぐ指導と事故発生時の迅速な対応
  - ・問題行動の未然防止のための意識的・組織的な対応
- 常に学び続ける教職員
  - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
  - ・日常的な相互授業観察による学び合い
  - ・講師を招聘した研究授業、校内OJT研修の充実
  - ・校外研修・指導教諭公開授業等への積極的な参加
- 働き方改革の推進による、児童と向き合う時間の充実

## 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成

### 確かな学力の向上

#### ～主体的に問題解決する力の育成～

- 各教科等において、学習の見通しをもたせ、主体的・協働的な問題解決の場を設定し、知識・技能の習得及び思考力や表現力を育みます。
- 一人一台のタブレット端末を有効に活用し、情報活用能力を高め、学習活動の充実を図ります。
- 読解力向上に向け、朝読書、読み解きタイム、たてわり音読会、読み聞かせ、読書週間の設定など、学校図書館及び読書学習司書やボランティアを活用した読書活動を推進するとともに読書習慣の定着を図ります。
- 東京ベーシックドリルや大田区算数ステップ学習（電子版）等を活用し、児童の習熟度に合わせた習熟度別少人数学習や補習教室等により、基礎・基本の定着を図ります。
- 大田区学習効果測定の結果分析を基に、授業改善推進プランを作成し、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ります。
- 外部専門機関、外部人材と連携した学習活動の充実を図ります。

### 豊かな心と社会性の涵養

#### ～規律ある生活習慣・態度の醸成～

- 人権に関する講話、人権標語、人権ポスター等を通して人権尊重の精神を育みます。
- 「清水窪スタンダード」を基に、日常生活における規律の必要性の認識を高め、社会の一員として重要な規則尊重の意識の向上を図ります。
- 「善悪の判断、自立、自由と責任」「親切、思いやり」を重点とした道徳教育を通して他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を涵養します。また、道徳授業地区公開講座を通して、家庭・地域と共通理解を図ります。
- いじめアンケートを毎月実施し、いじめ等の早期発見と早期解決に努めます。
- 「たてわり班」による異学年交流活動（遊び・音読会・全校遠足・奉仕活動等）を通して、自己の成長の自覚と思いやりの心、自己有用感の醸成を図ります。
- 東工大留学生による国際理解教育、ふれあい給食会、仲良くなりましょう集会など地域の方々との触れ合いを通して社会性や地域の一員としての自覚を育みます。
- 和太鼓学習「清水窪かしわ太鼓」を通して日本の伝統文化への理解と愛着を深めます。
- サポートルームや関係機関との連携を密にし、特別な支援を要する児童の自立に向けた主体的な取組を支援する視点から適切な指導を行います。

### 健康・体力の向上

#### ～自ら健康で安全な生活を創り出す力の育成～

- 「早ね・早おき・朝ごはん月間」、健康チェックカード「げんきいっぱい〇年生」の取組を通して、学校と家庭が連携して健康的な生活習慣の定着を図ります。
- 食の素晴らしさへの興味・関心を高め、望ましい食習慣を形成する食育を推進します。
- 運動会、水泳記録会、体育朝会、持久走大会等の体育的行事を充実させ、児童の体力の向上を図ります。
- 体力テストに向けた自己の目標の設定と、結果から課題を把握し、改善に向けた取組を推進します。
- 体育・健康教育授業地区公開講座をはじめ、地域、外部団体との連携を図り、健康的な生活態度の体得を図ります。
- 安全・安心な環境整備と防災・交通事故防止・不審者対応等、危険を回避する能力を育てる安全教育の充実を図ります。